令和８年度　　第１学年　　社会科　シラバス

教科目標

○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（１）日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	① 知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
地理的分野	○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
歴史的分野	○日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元名	単元の目標	評価方法
４	≪地理的分野≫ 世界の地域構成	① 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ② 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
５	≪地理的分野≫ 日本の地域構成	① 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。	定期テスト 確認テスト

		② 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する 島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	単元シート ワーク
6 7	≪地理的分野≫ 世界の様々な地域	① 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。 ② 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
   9	≪地理的分野≫ 世界の諸地域	①―（1）世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ①―（2）アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。 ② アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ 単元シート ワーク
10	≪歴史的分野≫ 〇歴史との対話	① 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 資料から歴史にかかわる情報を読み取ったり、年表にまとめたりするなどの技能を身に付ける。 ② 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現する。	定期テスト 確認テスト 単元シート ワーク
11 12 1	≪歴史的分野≫ 古代国家の成立と東アジア	① ―（1）世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ① ―（2）日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。 ① ―（3）律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ① ―（4）仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。 ② 古代までの日本を大観して、時代の特色や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ 単元シート ワーク
	≪歴史的分野≫ 武家政権の成長と東アジア	① ―（1）鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを	定期テスト 確認テスト

2 3		理解する。 ① ー（2）南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。 ① ー（3）農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 ② 中世の日本を大観して、時代の特色や社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	ポートフォリオ 単元シート ワーク
	≪歴史的分野≫ 〇歴史との対話	① 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ② 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心をもち，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。	レポート

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
〇世界と日本の地域構成 〇世界の様々な地域	〇世界の諸地域 （アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州）	〇世界の諸地域 （南北アメリカ州・オセアニア州） 〇歴史との対話	〇古代国家の成立と東アジア 〇武家政権の成長と東アジア

学習上のアドバイス

授業について
① 空所補充は色シートで消えるオレンジ色のペンを使用してかまいません。プリントに積極的にメモをとり、気になった点は質問しましょう。
② 自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面があります。積極的に参加しましょう。
③ 白地図の作成で色鉛筆またはカラーペンを使用することがあります。用意しておきましょう。

家庭学習のアドバイス
① 授業があった日や週末にワークやスタディサプリを活用して学習内容を復習しましょう。
② 小テストに向けて学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつなげましょう。
③ ノートまとめにまとめる、ワークを本体に解くなど工夫しましょう。

その他
①用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。

令和８年度　　第２学年　　社会科　シラバス

教科目標

〇社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（１）日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
地理的分野	〇我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	〇地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	〇日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
歴史的分野	〇日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	〇歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	〇歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間指導計画・評価計画（地理）

月	単元名	単元の目標	評価方法
４ ５	日本の地域的特色	①―（１）日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 ①―（２）少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ①―（３）日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ①―（４）国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ①―（５）「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題

		の国土の特色を大観し理解する。 ①―（6）日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。 ②―（1）「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②―（2）日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	
6 7 9 10 11 12 1	日本の諸地域	①―（1）幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ①―（2）各地域の特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ②日本の諸地域において、それぞれ中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート レポート プレゼン 自主課題
2	身近な地域の調査	①―（1）観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ①―（2）地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、 適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	レポート
3	地域の在り方	①―（1）地域の実態や課題解決のための取組を理解する。 ①―（2）地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。	レポート

年間指導計画・評価計画（歴史）

月	単元名	単元の目標	評価方法
4 5 6	《歴史的分野》 武家政権の展開と世界の動き	① ―（1）江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ① ―（2）産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ

7		各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ① ―（3）社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。 ② ―（1）交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ② ―（2）近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	単元学習シート
9 10 11 12 1 2 3	《歴史的分野》 近代（前半） 近代国家の歩みと国際社会	① ―（1）欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 ① ―（2）開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ① ―（3）自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。 ① ―（4）我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 ② ―（1）工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ② ―（2）近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 近代前半の日本や世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ 単元学習シート レポート

定期テスト範囲（予定）

１学期期末テスト	２学期中間テスト	２学期期末テスト	学年末テスト
○日本の地域的特色 ○武家政権の成長と東アジア	○日本の諸地域 （九州、中国・四国、近畿地方） ○欧米諸国における近代社会の成立とアジア諸国の動き	○日本の諸地域 （中部、関東、東北） ○明治維新と近代国家の形成	○日本の諸地域 （北海道地方） ○議会政治の始まりと国際社会との関わり ○近代産業の発展と近代文化の形成

学習上のアドバイス

授業について
　①プリントの空いているスペースやメモ欄を利用し、積極的にメモをとるようにしましょう。
　②定期的に確認テストを実施します。
　③自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面が多くあります。間違っていてもかまいません。積極的に参加し、学習していきましょう。
家庭学習のアドバイス
　①プリントやワークを活用し、その日の学習内容を復習するようにしましょう。
　②確認テストの学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつながります。
その他
　①用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。

令和８年度　　第３学年　　社会科　シラバス

教科目標

〇社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（１）日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の領土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点及び趣旨

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
歴史的分野	〇日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	〇歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	〇歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
公民的分野	〇個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現ダイン社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	〇社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	〇現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元名	単元の目標	評価方法
４ ５	《歴史的分野》 江戸時代 近代国家の歩みと国際社会	①-（１）自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解する。 ①-（２）我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。 ②近代前期の社会の変化の様子や時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③近代前期の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）

６	《歴史的分野》 二度の世界大戦と日本	①-（１）第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 ①-（２）経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 ②近代後期の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する。 ③近代後期の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
７	《歴史的分野》 現在に続く日本と世界	①-（１）冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ①-（２）高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。 ②-（１）現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ②-（２）これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
９	《公民的分野》 現代社会と文化	①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。また、現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ②少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
１０	《公民的分野》 現代社会をとらえる枠組み	①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。 ②社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
１１	《公民的分野》 日本国憲法	①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。また、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）

		体的に社会に関わろうとする。	
１２	《公民的分野》 民主政治	①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方、国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ②民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
１	《公民的分野》 市場経済	①身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 ②個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
２ ３	《公民的分野》 財政	①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。 ②市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。また、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト 確認テスト ポートフォリオ まとめシート 自主課題 （レポート）
	《公民的分野》 国際社会	①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ②日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	定期テスト プレゼン

定期テスト範囲（予定）

１学期期末テスト	２学期中間テスト	２学期期末テスト	学年末テスト
○江戸時代 ○近代国家の歩みと国際社会	○二度の世界大戦と日本 ○現在に続く日本と世界 ○現代社会と文化	○現代社会をとらえる枠組み ○日本国憲法 ○民主政治	○市場経済 ○財政 ○国際社会 ○３年間の総復習

学習上のアドバイス

授業について
　①プリントの空いているスペースやメモ欄を利用し、積極的にメモをとるようにしましょう。
　②定期的に確認テストを実施します。
　③自分の意見を発表したり、級友と話し合ったりする場面が多くあります。間違っていてもかまいません。積極的に参加し、学習していきましょう。
家庭学習のアドバイス
　①プリントやワークを活用し、その日の学習内容を復習するようにしましょう。
　②確認テストの学習を積み重ねていくことで、定期テストの得点アップにつながります。
その他
　①用語集の販売を行います。必要な人は購入し、授業や復習に活用しましょう。